



様式第10号(第14条関係)

令和5年6月30日

持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井 伸治

住 所 鳥取県倉吉市小田79-15

団体名 特定非営利活動法人ピアサポートつむぎ

代表者職・氏名 理事長 河本純子

年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

1 寄附金受入額 令和4年度合計 72,000円

2 添付書類

(1) 寄附金活用実績報告書<様式第10号の2>

(2) 寄附金活用収支決算書<様式第10号の3>

様式第10号の2 (第14条関係)

令和4年度寄附金活用実績報告書

事業名	不登校やひきこもり・発達障がい理解のある地域のサポーターを増やしたい！
実施期間	令和4年10月1日～令和5年3月31日
事業内容 ※対象者の範囲や人数、実施方法等を具体的に記入。	<p>期間：令和4年10月1日～令和5年3月31日</p> <p>場所：鳥取県全域（主に中部で開催）</p> <p>対象者：地域の人、企業、行政、学校など。</p> <p>実施方法：学校（先生や保護者）や行政、企業、地区公民館等に向向く。</p> <p>事業の内容：不登校やひきこもり、発達障がいのある人達への思い込みによる誤解や偏見を解消し、誰もが安心して暮らせる地域となるように理解啓発活動を行った。</p>
事業実施の成果・効果（見込み）	<p>地域の公民館や学校、企業へ出向き、理解啓発の為の講座を開く事で、「共に学び、共に生き、共に暮らす地域の仲間」として、温かく見守ってくれるサポーターを増やしていく。</p> <p>そして、スタッフも積極的に研修を受けて新しい情報を吸収し、誰もが同じ対応が出来る様にする。</p> <p>その為にも、理解啓発の為に使う資料やリーフレットを専門家の助言を得ながら作成する事で正しい情報を伝えていく。</p> <p>今年度は教職員組合の研修（不登校の体験談と対応についての提案）や小学校PTAのオンライン研修（発達障がいの理解について）で講師を務めた。</p> <p>知る事が出来て良かったとの感想を頂き、理解啓発に繋がったと思う。</p>

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、その見込みを記載すること。

様式第10号の3（第14条関係）

令和4年度寄附金活用収支決算書

【収入】

区 分	金額（円）	内 訳
支援寄附金	72,000 円	（第1回交付分）
収入 計	72,000 円	

【支出】

区 分	金額（円）	内 訳
繰越金	72,000 円	次年度繰越金 （令和4年度は団体としての活動は実施したものの支出を伴う活動はなかったため、令和5年度に繰り越す）
支出 計	72,000 円	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。